

今後の ALL JA1コンテスト規約(案)

1. 主催

東京大学アマチュア無線クラブ

2. 開催日時

毎年6月最終日曜日 JST09:00~20:00 (部門による)

主催者の試験日程などの都合上変更させていただきます (確定)

3. 参加資格

日本国内で免許を受けている全てのアマチュア無線局

(相互運用協定によって日本国内で運用が認められていて、日本国内で運用をしているアマチュア無線局も認めます)

4. 周波数

電信・電信電話部門

1.9/3.5/7/14/21/28/50MHz (JARL コンテストに準拠します)

デジタル (FT8/FT4) 部門 **新規**

3.5/7/14/21/28MHz

他の国内通信や海外通信を妨害しないために、使用周波数は以下の通りをお勧めします。

FT4 の場合は

3.528

7.038

14.080-14.090

21.080-21.090

28.080-28.090

FT8 の場合は

3.531

7.041

14.090-14.100

21.090-21.100

28.090-28.100

また、使用している周波数が混んできた場合は必要に応じて 2kHz 高い周波数に移動してください。

5. 空中線電力

電信・電信電話部門

免許によって認められた範囲

デジタル(FT8/FT4)部門

免許によって認められた範囲かつ **50W 以下**

6. 部門

以下の各部門に加え、1 エリア内・外による部門が分けられます。

更に、HIGH バンド部門/LOW バンド部門では電信・電信電話部門の分類があります。

6.1 個人部門

HIGH バンド部門/LOW バンド部門/デジタル部門において、それぞれ1部門のみ参加可能です。また、個人部門での参加者は、全員自動的に総合部門（後述）参加となります。

それぞれの部門で運用地は違っても構いません。移動運用において、時間によ

って1エリア内外をまたいだ場合は1エリア総合部門として扱います。 **新規**

(同じ部門内においては、運用場所を変更することは禁止です)

1. HIGH バンド部門 (JST 09:00~12:00)

以下の 5 部門から 1 部門のみ参加可能です。

A. 14MHz バンド

B. 21MHz バンド

C. 28MHz バンド

D. 50MHz バンド

E. オールバンド

2. LOW バンド部門 (JST 16:00~20:00)

以下の 4 部門から 1 部門のみ参加可能です。

F. 1.9MHz バンド

G. 3.5MHz バンド

H. 7MHz バンド

I. オールバンド

3. デジタル部門(JST 13:00~15:00) **新規**

J. オールバンド

(運用局数が少ない可能性があるため今年度はマルチバンド部門のみとします。今回の参加状況により今後の部門数について検討いたします)

4. 個人総合部門 **従来と変更しています**

今年度より、全ての個人参加者は自動的に総合部門参加となります。

複数部門に参加している場合は、各周波数帯での交信局数の和とマルチプ

라이어の和の積が総合部門の点数となります。

6.2 団体部門 (時間は個人部門に準じます)

1. HIGH & LOW バンド部門

K. オールバンド

個人部門で参加可能な周波数が使用可能です。

複数の団体部門参加局に構成員として参加することはできません

団体部門参加局に構成員として参加する場合は個人部門に参加することは

できません。

デジタル部門に参加しても参加可能です。

2. デジタル部門（周波数等は個人に準じます） **新規**

L. オールバンド

複数の団体部門参加局に構成員として参加することはできません

団体部門参加局に構成員として参加する場合は個人部門に参加することは
できません。

電信・電信電話部門へ参加した団体も参加可能です

3. 団体総合部門 **新規**

今年度より、全ての参加団体は自動的に総合部門参加となります。

複数部門に参加している場合は、各周波数帯での交信局数の和とマルチプラ

イヤーの和の積が総合部門を人数で割ったものが点数となります。（後述）

7. 交信相手方

電信・電信電話・デジタル部門

1 エリア内部門：国内で運用する全てのアマチュア局

1 エリア外部部門：1 エリア内で運用するアマチュア局

8. 呼び出し方法

CQ JA1 コンテスト

CQ JA1 TEST

9. 交信相手方に送信するシリアルナンバー

電信・電信電話

・1 エリア内：RS(T) + 市郡区ナンバー

・1 エリア外：RS(T) + 府県支庁ナンバー

デジタル部門

・1 エリア内/外：RS + 市郡区ナンバー

(参加局数が少ないと予測されるための措置です)

10. 交信により得られる点数

完全な交信で1点

同一バンド内で同一局との交信は電信・電話・デジタルでそれぞれ1回まで得点に

なります

11. マルチプレイヤー

各周波数帯で交信相手局から受け取ったシリアル番号の異なり数

12. コンテスト全体の得点

1. 個人

各周波数帯での交信局数の合計とマルチプレイヤーの積

(注意：総合部門の得点換算は各々の部門の得点の和です)

2. 団体

各周波数帯での交信局数の合計とマルチプレイヤーの積 ÷ 運用人数

近年、団体部門において優勝チームが固定化されていて、新しいチームの参入が減っております。そのため、新しいチームでも個人全員が素晴らしい能力を発揮すれば優勝の機会を得られる可能性を作るため、上のような点数計算としています。

13. 書類提出

東京大学アマチュア無線クラブの自動集計システム (ATS-4) に提出ください。

止むを得ずメール提出する場合はお問い合わせをお願いいたします

算出された点数が異常に低い場合は直ちにご連絡ください

14. 提出期限

7月第2日曜日

15. 確認期間

書類等に不備がある場合は再提出を依頼する場合があります。

また、順位等に異議がある場合はお申し出ください。

以上の修正は提出期限から 30 日後まで受け付けます。

16. 表彰

各部門の書類提出局には、その部門の総提出局数の 10%以下で最大 7 位までの上位

局には賞状と東京大学関連グッズを提出書類記載の住所宛でお送りします。

17. 参加賞

デジタル部門参加局を増やすため、デジタル部門参加局でハムフェアに来られた方

には、会場にて東京大学関連グッズをお送りします。

18. 結果発表

正式な結果発表は当ウェブサイトにて行います。

19. その他の事項

1. デジタルモード

- ・DXpedition モードなど周りに歪みを与える可能性があるシステムは、使用しないでください。

- ・その他、技術的に歪みを与えない場合はパラレル QSO を使用可能です。

その際は、空中線電力の合計値が規則 5 に準じます。

- ・CQ を同時に複数に送出することは禁止します

2. 団体の運用人数の定義

- ・運用人数とは、コンテスト開催時間中に運用を行った人数を指します。

- ・サブオペレーションに関わった人数も含めてください。

- ・ログ提出の際は、HIGH/LOW/デジタル部門のそれぞれに関して人数を申告してください。

3. すべての部門

- ・上記に規定されない禁止事項は JARL コンテストに則ります。

(参考資料 コンテスト部門表)

1 エリア内	個人	電信	HIGH バンド部門	14MHz 帯
				21MHz 帯
				28MHz 帯
				50MHz 帯
			オールバンド	
			LOW バンド部門	1.9MHz 帯
				3.5MHz 帯
				7MHz 帯
		オールバンド		
		電信・電話	HIGH バンド部門	14MHz 帯
				21MHz 帯
				28MHz 帯
	50MHz 帯			
	オールバンド			
	LOW バンド部門		1.9MHz 帯	
			3.5MHz 帯	
			7MHz 帯	
		オールバンド		
デジタル	デジタル部門	オールバンド		
(個人総合部門)				
団体	電信	HIGH&LOW バンド部門	オールバンド	
	電信・電話	HIGH&LOW バンド部門	オールバンド	
	デジタル	デジタル部門	オールバンド	
	(団体総合部門)			
1 エリア外	個人	電信	HIGH バンド部門	14MHz 帯
				21MHz 帯
				28MHz 帯
				50MHz 帯

			オールバンド	
			LOW バンド部門	1.9MHz 帯
				3.5MHz 帯
				7MHz 帯
		オールバンド		
		電信・電話	HIGH バンド部門	14MHz 帯
				21MHz 帯
				28MHz 帯
				50MHz 帯
			オールバンド	
	LOW バンド部門	1.9MHz 帯		
		3.5MHz 帯		
		7MHz 帯		
		オールバンド		
デジタル	デジタル部門	オールバンド		
(個人総合部門)				
団体	電信	HIGH&LOW バンド部門	オールバンド	
	電信・電話	HIGH&LOW バンド部門	オールバンド	
	デジタル	デジタル部門	オールバンド	
	(団体総合部門)			